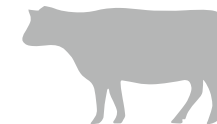


## 動物用医薬品

牛用イベルメクチン滴下剤  
使用基準

# エコメクチントピカルオン<sup>®</sup>



®登録商標

「エコメクチン<sup>®</sup>トピカルオン」は、ECO Animal Health社が開発したイベルメクチン0.5%含有の滴下剤で、牛の内部寄生虫及び外部寄生虫の駆除剤です。

## 【成分及び分量】

品名	エコメクチン トピカルオン
有効成分	イベルメクチン
含量	1mL中5mg

## 【効能又は効果】

牛(搾乳牛及び分娩予定日前28日間の乳用牛を除く。)の下記の内部寄生虫及び外部寄生虫の駆除。

内部寄生虫:オステルターグ胃虫、牛腸結節虫、クーペリア、毛様線虫、乳頭糞線虫及び牛肺虫  
外部寄生虫:疥癬ダニ(食皮ヒゼンダニ)、シラミ及びノサンバエ

牛(搾乳牛及び分娩予定日前28日間の乳用牛を除く。)マダニによる吸血の抑制。

## 【用法及び用量】

体重1kg当たり本剤0.1mL(イベルメクチンとして500µg)を1回牛(搾乳牛及び分娩予定日前28日間の乳用牛を除く。)の背線部のき甲から尾根にかけて直線的に注ぐ。

## 【使用上の注意】

(基本的事項)

## 1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
- ・本剤は牛のみに投与するように製剤化されているので、他の動物種には使用しないこと。
- ・本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意:本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物[牛(搾乳牛を除く。)]について、上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

牛(搾乳牛を除く。):

食用に供するためにと殺する前37日間

(使用者に対する注意)

- ・使用時にはゴム手袋を着用すること。
- ・本剤は皮膚から吸収されるので、誤って皮膚に付着した場合は直ちに水洗いすること。
- ・誤って眼に入った場合には、直ちに眼を流水で洗い流し、医師の診察を受けること。
- ・本剤は、換気の良い場所あるいは屋外で使用する。また、取扱い中は喫煙又は飲食してはならない。

(牛に関する注意)

- ・本剤は搾乳牛(食用に供するために出荷する乳を泌乳している牛をいう。)及び分娩予定日前28日間の乳用牛には使用しないこと。
- ・本剤は外用剤であるので、それ以外の投与方法(経口、筋肉内、皮下投与等)は行わないこと。
- ・疥癬ダニによる痂皮あるいは病変部、皮膚病による病変部、汚泥・糞等の付着した皮膚には効果が損なわれる恐れがあるので投与しないこと。
- ・被毛あるいは皮膚が濡れている場合は、効果が損なわれる場合があるので投与しないこと。
- ・投与後2時間以内に雨に曝される恐れがある場合は、効果が損なわれる恐れがあるので投与しないこと。

【製造販売元(輸入発売元)】

**ECO** 株式会社エコアニマルヘルスジャパン

東京都港区浜松町一丁目2番1号

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・食品と区別して保管すること。
- ・使用期限を過ぎたものは使用しないこと。
- ・開封後は、遮光して保管し、早く使い切ること。
- ・小児の手の届かないところに保管すること。
- ・使用後はアダプターを取り外し、栓を固く締めて保存すること。
- ・本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
- ・誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- ・本剤の保管は、火気厳禁(第4類・アルコール類・水溶性・危険等級Ⅱ)とすること。
- ・本剤は引火性があるので、熱、花火、裸火又はその他の発火源を避けて保管すること。
- ・本剤は魚及びある種の水棲生物に影響を与えることがあるので、容器及び残りの薬剤は、地方公共団体条例に従い処分すること。

## 2. 使用に際して気を付けること

(使用者に対する注意)

- ・誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(牛に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- ・本剤の定期的投与を行う際の投与間隔は37日以上とすること。
- ・放牧中の牛に対してはマダニの発生状況に応じて本剤の定期的な投与が必要である。
- ・投与後しばらくは線虫卵の排出が継続することがある。

(取扱い上の注意)

- ・本剤を氷点下に放置し、濁りが生じた場合には室温に暖めて使用すること。室温に戻すと正常な外観に回復し、その効力には影響しない。
- ・その他、使用説明書を参照すること。

(専門的事項)

### 1. 過量投与

- ・有害反応として運動失調及びうつ状態になる場合がある。

【包装】

- 250mL(ポリエチレン製容器)
- 1L(ポリエチレン製容器)
- 2.5L(ポリエチレン製容器)

【製品情報のお問い合わせ先】

株式会社エコアニマルヘルスジャパン  
東京都港区浜松町一丁目2番1号  
TEL:03-5776-2530

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<http://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>)にも報告をお願いします。

## ◆250mL包装品、1L包装品ご使用のお客様へ

### 投薬時の計量アダプター(250mL,1L専用)の取り扱いについて

1. 投薬の準備として、添付の吸引チューブを取り出し、溝のない方をアダプター側に挿入します。
2. 製品のキャップを外し、溝のついたチューブの先から薬液に沈めていき、アダプターの白いキャップを回して製品にしっかりと固定して、アダプターを装着させます。
3. アダプター頭部の刻みのついた緑のキャップを回して、上下する赤い線を投与牛の体重の目盛りに合わせてみます。
4. 製品ボトルを立てた状態にしたままボトルを手で挟み、少しずつ力を入れながら赤い線をやや超えるまで薬液を押し出します。
5. 押し出しの動作を止めると、所定の薬液量のみアダプター内に残りますので、容器を傾けてそれを投与して下さい。
6. キャップの開封後は、なるべく早く薬剤をご使用下さい。

## ◆2.5L包装品ご使用のお客様へ

### 投薬時のストラップ(2.5L専用肩ひも)の使用方法について

本製品には、投薬に用いる付属品として、①投薬チューブ装着器具、②ストラップ(容器を肩に担ぐ場合に用いるひも)が容器の裏面である中央部のくぼみに封入されています。ご使用の際は、シールを破って取り出してご利用下さい。

②のストラップの使用方法としましては、容器の周囲4箇所に穴がありますので、容器を立てた状態で表面(牛の絵のラベル側)より、右(又は左)上の穴⇒(裏面にまわして)⇒右(又は左)下の穴⇒(表面にまわして)⇒左(又は右)下の穴⇒(裏面にまわして)⇒左(又は右)の穴、の順にストラップで連続した一つの輪を作り、バックルの部分で適当な長さになるよう調整して下さい。容器を担いで投薬される時には、①の投薬チューブ装着器具を注ぎ口に装着し、投薬器からのチューブを接続した後、注ぎ口を下にして背中に製品を背負うように担いで下さい。

尚投薬につきましては、計量できるアダプターが入っておりませんので、恐れ入りますが、既存の投薬器具等をご利用下さい。